

今治市大三島美術館 館蔵品展「鳥と春」作品リスト
2017年3月23日（木）～2017年6月11日（日）

【小展示室】

	作者名	作品名	分類・形状	寸法 (cm)	制作年
1	岩倉 寿	春郊	紙本彩色	40.9 x 31.8	1980
2	堀井 利香	春光	紙本彩色	97 x 145.4	1991
3	出口 直介	春の日	紙本彩色	89.4 x 130.3	1998
4	倉島 重友	春へ	紙本彩色	100 x 100	1985
5	伊藤 彰耳	新緑産山新牧	紙本彩色	60.6 x 90.9	1991
6	森山 知己	瀬戸内の春	絹本彩色	97 x 145.5	1992
7	中路 融人	桜と鳥	紙本彩色	81 x 60	1983

【大展示室】

8	野々内 良樹	常鶺鴒	紙本彩色	41 x 53	1989
9	安川 実	眼光	紙本彩色	89 x 130	2001
10	中野 嘉之	季節風	紙本彩色	53 x 179	1982
11	中野 嘉之	映	紙本彩色	112 x 227	1984
12	中野 嘉之	樹炎	紙本彩色	227 x 198	1989
13	中野 嘉之	七面鳥	紙本彩色	112 x 227	1984
14	西野 陽一	長尾鶏	紙本彩色	145.5 x 112.1	1989
15	吉原 慎介	佇む少女	紙本彩色	112 x 162	1985
16	濱田 台児	翔	素描	53.2 x 42.5	1996
17	黒光 茂明	白フクロウ	紙本彩色	60.6 x 90.9	1986
18	竹内 浩一	雁わたし	紙本彩色	80 x 65	1982
19	鳥山 武弘	朝まだき	紙本彩色	145.5 x 89.4	1991
20	竹内 浩一	飛べないトビ	紙本彩色	162.1 x 130.3	1998
21	浅田 彩	愛染	紙本彩色	148 x 72	1985
22	森 守明	山水	紙本墨画	136 x 278	2001
23	加山 又造	火の島	絹本彩色	各165.8 x 364.5	1961

【展示ケース】

24	宇多 萩邨	枝に小禽	素描	26.5 x 19	
25	宇多 萩邨	紅葉小禽	素描	35.8 x 5.8	1912
26	宇多 萩邨	白梅に小禽	素描	35.8 x 5.8	1912
27	宇多 萩邨	鳥	素描	30.5 x 17.5	
28	宇多 萩邨	鳥（小禽）	素描	34 x 24	
29	小杉 放庵	鶺鴒飼い	素描	14.6 x 22.4	
30	鈴木 保徳	かんむり鳩	素描	35 x 26	
31	郷倉 千靱	つばめ	素描	11.5 x 18.5	
32	河野 秋邨	飛翔図	本画	27.3 x 24	

【田淵俊夫記念展示室】

	作者名	作品名	分類・形状	寸法(cm)	制作年
1	田淵 俊夫	流転 I	下図	46 x 59.5	1982
2	田淵 俊夫	流転 II	下図	45 x 55.5	1983
3	田淵 俊夫	ヨルバの神々	下図	42.5 x 59.2	1968
4	田淵 俊夫	ヨルバの神々	紙本彩色	164 x 228	1968
5	田淵 俊夫	ヨルバの少女	紙本彩色	120.5 x 76	1969
6	田淵 俊夫	やまはぜの頃(部分)	下図	96 x 60.5	1974
7	田淵 俊夫	やまはぜの頃	下図	116.7 x 71.7	1974
8	田淵 俊夫	やまはぜの頃	紙本彩色	116.7 x 72.7	1974
9	田淵 俊夫	刻	下図	134 x 99.5	1994
10	田淵 俊夫	旅の窓から 一刻	下図	31.5 x 65	1994
11	田淵 俊夫	旅の窓から 裏窓	紙本彩色	116.7 x 90.9	1999
12	田淵 俊夫	旅の窓から 運河	紙本彩色	116.7 x 90.9	1994
13	田淵 俊夫	旅の窓から 運河	下図	119.5 x 93.5	1994
14	田淵 俊夫	春萌ゆ	下図	22.4 x 45.9	1987
15	田淵 俊夫	兆	下図	93 x 68	1991

田淵俊夫氏略歴:

1941年(昭和16)東京都江戸川区に生まれる。1967年東京芸術大学大学院修了。1968年第53回院展に「ヨルバの神々」が初入選、71年春の院展で「秋宴」が奨励賞(以後6回受賞)、81年には外務大臣賞を受賞。また1971年には第15回シェル美術賞展で佳作賞受賞、78年「安曇野」が第1回東京セントラル美術館日本画大賞展優秀賞、79年「輪中の村」が第5回山種美術館賞展 優秀賞を得る。1982年第1回前田青邨賞、同年第67回院展で「流転」が日本美術院賞・大観賞、83・84年と連続奨励賞、85年には第70回院展で「叢叢讃歌」が2度目の日本美術院賞・大観賞を受賞し、日本美術院同人に推挙。1988年第73回院展では文部大臣賞、94年には「大地I・II」で第79回院展内閣総理大臣賞を受ける。学生時代は心象風景を描いていたが、卒業後アフリカへ旅し灼熱の太陽のもとで逞しく生きる植物に感動したのがきっかけで雑草を描き始める。その後、大和などの風景を主題とし、80年代に入って再び草花を題材とすることが多くなる。近年は奈良の心象風景、旅窓から見た生活情景のほか、インドや中国、ベトナムなどを題材としている。精緻な線描と緑や青など淡い色彩を特色とする作品は叙情味を帯びて清く澄み、古典的な優美さを醸している。1996年大三島美術館に田淵俊夫記念展示室がオープン。以後同館で個展開催。現在、日本美術院代表理事。

【応接室】

1	村上 佳苗	イロ	キャンバス、油彩		
2	村上 佳苗	城山	立体		
3	村上 佳苗	昔語	キャンバス、油彩	145.5 x 112	2012
4	村上 佳苗	いまおるとこ	立体		2016
5	村上 佳苗	潮汲み	キャンバス、油彩		
6	村上 佳苗	大潮	キャンバス、油彩		
7	村上 佳苗	御手ノ真中	キャンバス、油彩	162 x 130.3	2010
8	村上 佳苗	どうか	キャンバス、油彩		
9	多和 圭三	無題	鉄		1993